

2022年3月期 第2四半期 決算補足資料

2021年11月9日

京阪ホールディングス株式会社

(東証1部 9045 <https://www.keihan-holdings.co.jp/>)

2022年3月期 第2四半期

決算の概要

連結損益計算書

- 収益認識会計基準の適用による影響はあるものの、不動産販売業の増収や、運輸業等における前年同期の新型コロナウイルスの影響の反動もあり増収・増益。

(単位：百万円)

	2022/3 2Q実績	2021/3 2Q実績	増減	増減要因	2022/3 9月発表2Q予想	増減
営業収益	118,564	108,232	10,332 (9.5%)	※収益認識会計基準適用による影響△12,557	117,300	1,264 (1.1%)
営業利益	2,793	△5,854	8,648 (-)		1,800	993 (55.2%)
営業外収益	2,426	1,735	691	新型コロナウイルス感染症対策補助金+505、 雇用調整助成金+482		
営業外費用	1,492	1,856	△364			
経常利益	3,727	△5,975	9,703 (-)		2,500	1,227 (49.1%)
特別利益	1,748	2,524	△775	投資有価証券売却益△1,127		
特別損失	466	1,085	△618	新型コロナウイルス感染症による損失△765		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,950	△6,320	8,270 (-)		1,000	950 (95.1%)
減価償却費	10,297	10,252	45			
E B I T D A	13,090	4,397	8,693	※EBITDA：営業利益+減価償却費		
受取利息及び配当金	241	350	△108			
支払利息	1,030	1,036	△5			
金融収支	△789	△686	△103			

(単位：百万円)

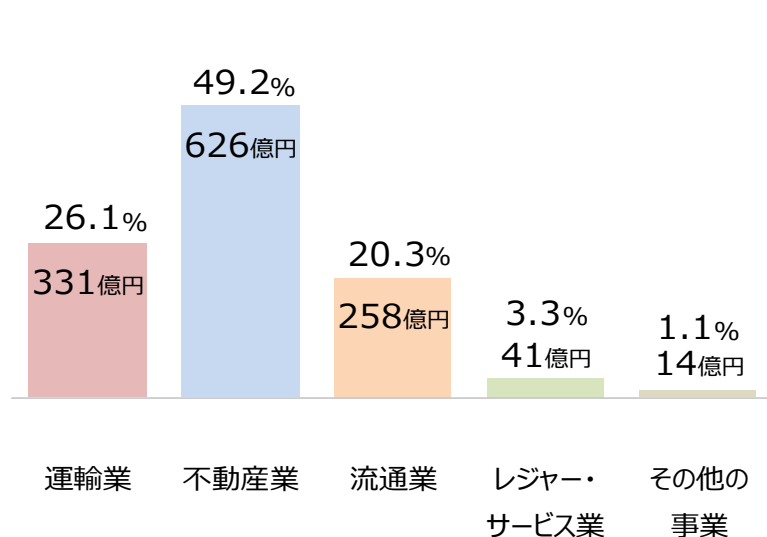
		2022/3 2Q実績	2021/3 2Q実績	増減額	増減率
運 輸 業	営 業 収 益	33,157	30,497	2,660	8.7%
	営 業 利 益	△1,991	△7,010	5,018	—
不 動 産 業	営 業 収 益	62,652	43,880	18,771	42.8%
	営 業 利 益	10,400	8,190	2,209	27.0%
流 通 業	営 業 収 益	25,893	38,360	△12,467	△32.5%
	営 業 利 益	414	△24	439	—
レシ「ャー・サ「ビ「ス業	営 業 収 益	4,194	3,290	903	27.4%
	営 業 利 益	△5,437	△6,222	784	—
そ の 他 の 事 業	営 業 収 益	1,416	1,319	96	7.3%
	営 業 利 益	△757	△763	6	—
全 社 ・ 消 去	営 業 収 益	△8,750	△9,117	367	—
	営 業 利 益	164	△25	189	—

セグメント情報（構成）

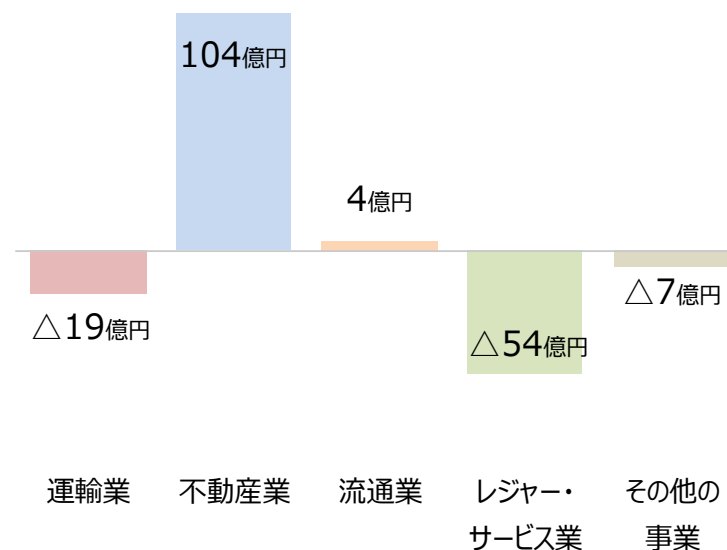
【連結対象会社】41社（対前年同期 1社減）【持分法適用会社】2社（対前年同期 増減なし）

運 輸 業	京阪電気鉄道、京福電気鉄道、京阪バス 他12社
不 動 産 業	京阪ホールディングス、京阪電鉄不動産、ゼロ・コーポレーション、京阪建物 他7社
流 通 業	京阪百貨店、京阪ザ・ストア、京阪流通システムズ、ビオ・マーケット 他1社
レジャー・サービス業	ホテル京阪、京阪ホテルズ&リゾート、琵琶湖汽船 他5社
その他の事業	ビオスタイル、京阪カード

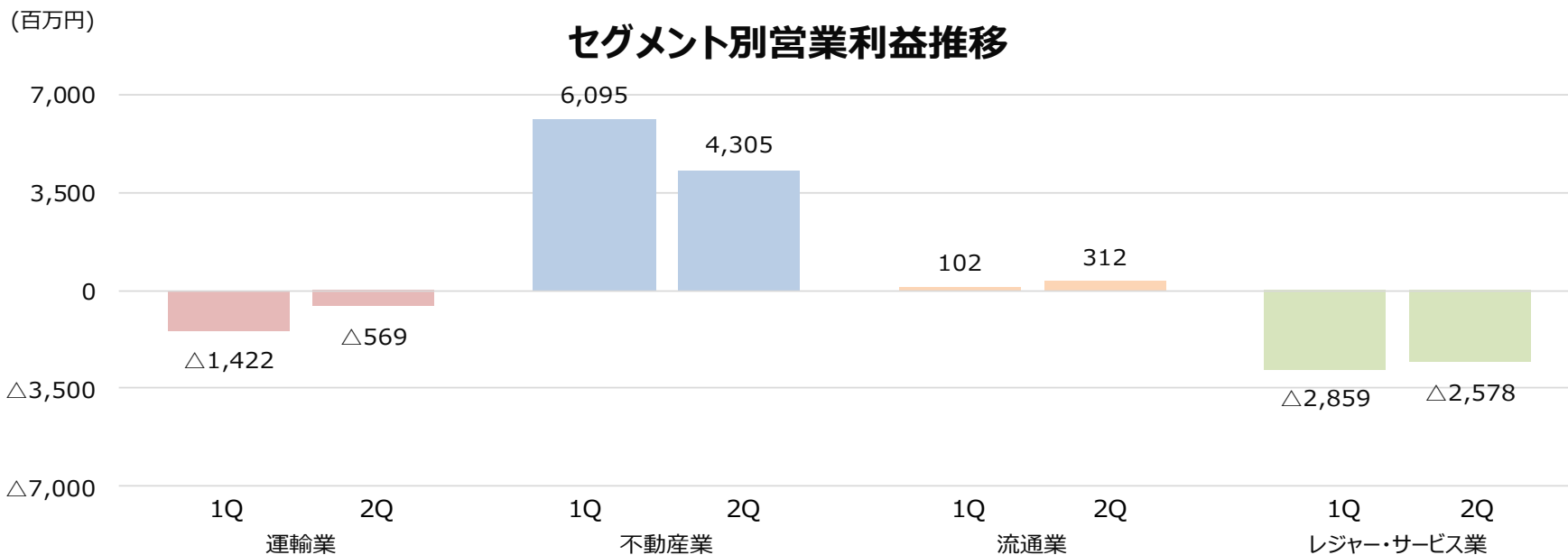
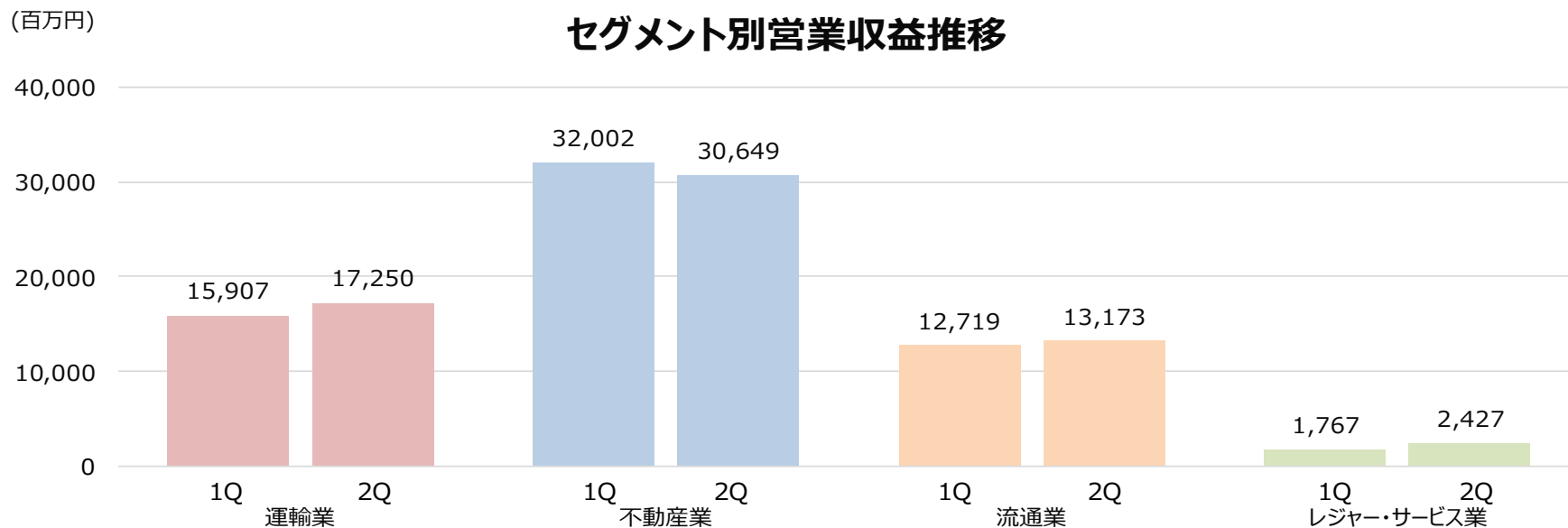
<セグメント別営業収益>



<セグメント別営業利益>



(注)セグメント数値は、セグメント間取引消去を含む金額であります。%は各セグメントの構成比を表しております。



セグメント情報（運輸業）

（単位：百万円）

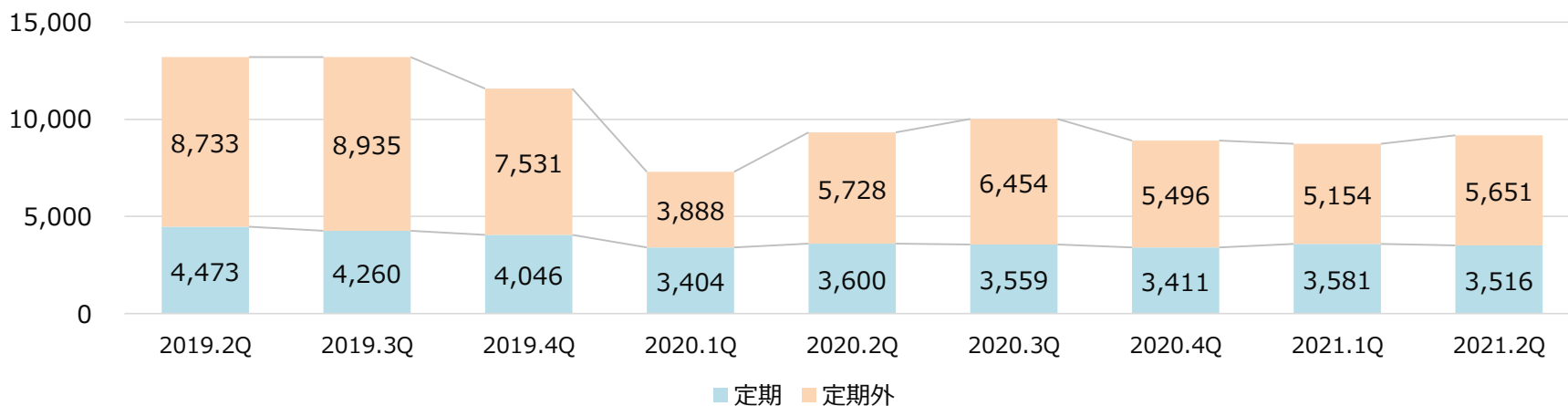
	2022/3 2Q実績	2021/3 2Q実績	増減額	増減率
営業収益	33,157	30,497	2,660	8.7%
鉄道事業	27,319	25,996	1,322	5.1%
バス事業	9,429	8,608	821	9.5%
消去	△3,591	△4,107	516	－
営業利益	△1,991	△7,010	5,018	－
鉄道事業	△1,358	△4,770	3,411	－
バス事業	△634	△2,243	1,608	－
消去	1	3	△2	－

（主な増減要因）

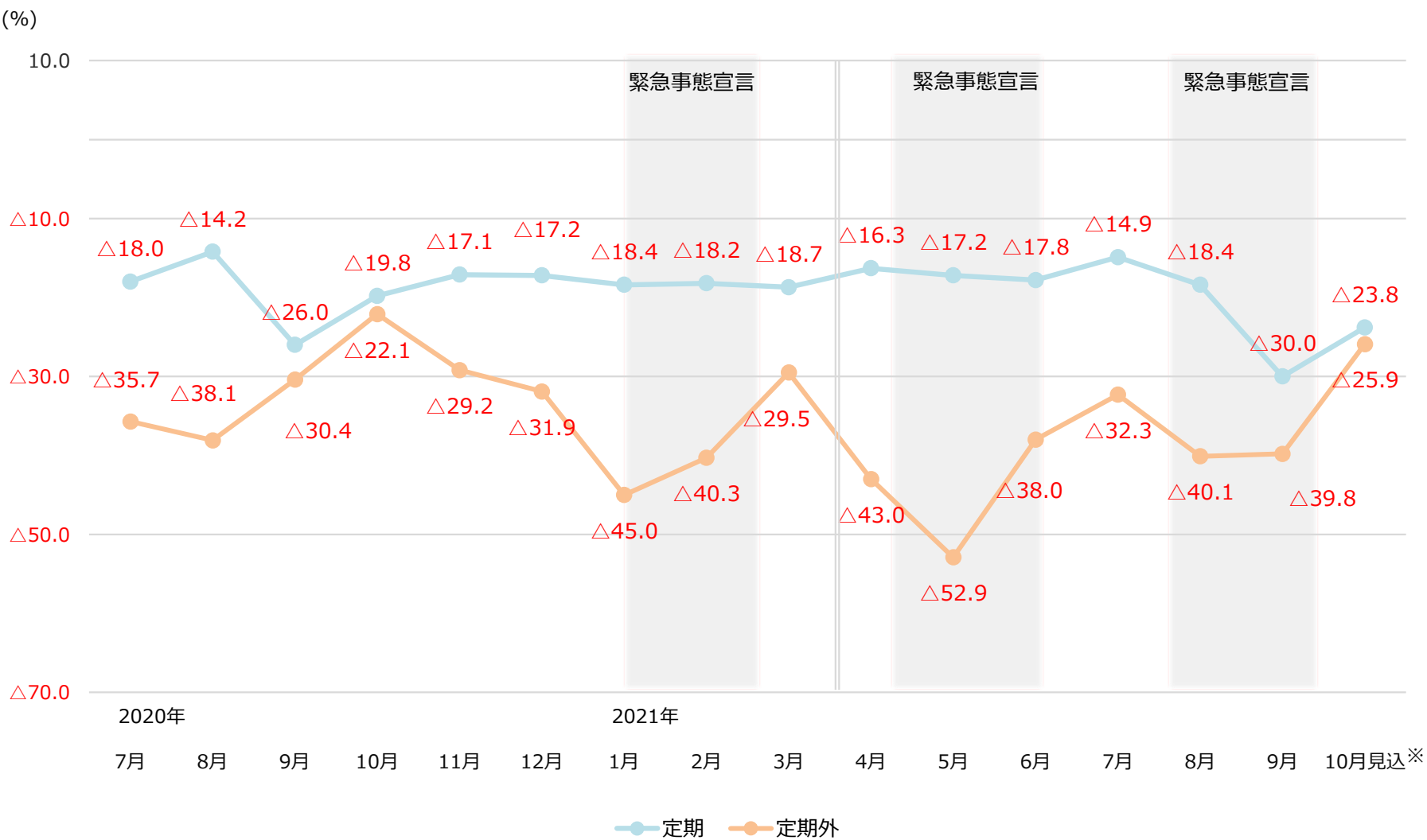
- ・ 鉄道事業は、前年同期の新型コロナウイルスの影響の反動による旅客数の増加に加え、コスト削減の取り組みにより、増収・増益。
- ・ バス事業は、前年同期の新型コロナウイルスの影響の反動による乗合収入などの増加に加え、コスト削減の取り組みにより、増収・増益。

		2022/3 2Q実績	2021/3 2Q実績	増減	増減率
		百万円	百万円	百万円	%
旅 客 収 入		17,903	16,620	1,282	7.7
定 期 外		10,805	9,616	1,189	12.4
定 期		7,097	7,004	93	1.3
		千人	千人	千人	%
旅 客 数		106,689	99,732	6,957	7.0
定 期 外		44,788	40,649	4,139	10.2
定 期		61,900	59,082	2,818	4.8

旅客収入の推移（百万円）



旅客数対2019年比



※改札通過人員を使用 (実績は統計上の旅客数)

セグメント情報（不動産業）

（単位：百万円）

		2022/3 2Q実績	2021/3 2Q実績	増減額	増減率
営	業 収 益	62,652	43,880	18,771	42.8%
	不 動 産 事 業	55,391	36,336	19,054	52.4%
	不 動 産 販 売 業	40,704	22,429	18,274	81.5%
	不 動 産 賃 貸 業	12,817	12,061	756	6.3%
	そ の 他	1,869	1,845	23	1.3%
	建 設 事 業	10,978	10,150	828	8.2%
	消 去	△3,717	△2,606	△1,111	—
営	業 利 益	10,400	8,190	2,209	27.0%
	不 動 産 事 業	11,344	8,135	3,209	39.5%
	不 動 産 販 売 業	5,263	2,277	2,986	131.1%
	不 動 産 賃 貸 業	5,873	5,632	240	4.3%
	そ の 他	207	224	△17	△7.7%
	建 設 事 業	△52	△60	8	—
	消 去	△891	116	△1,007	—

（主な増減要因）

- 不動産販売業は、ホテルやオフィスビルなど開発案件の販売により、増収・増益。
- 不動産賃貸業は、虎ノ門ヒルズビジネスタワー・京阪西三荘スクエアの寄与や不動産ファンド収入の増加などにより、増収・増益。

セグメント情報（流通業）

（単位：百万円）

	2022/3 2Q実績	2021/3 2Q実績	増減額	増減率
営業収益	25,893	38,360	△12,467	△32.5%
百貨店業	9,200	18,858	△9,657	△51.2%
ストア業	8,724	12,447	△3,722	△29.9%
ショッピングモールの経営	5,820	5,664	156	2.8%
その他の	2,849	3,179	△330	△10.4%
消去	△702	△1,789	1,086	—
営業利益	414	△24	439	—
百貨店業	△363	△326	△36	—
ストア業	339	139	200	144.1%
ショッピングモールの経営	436	345	91	26.5%
その他の	△19	△189	169	—
消去	21	7	14	—

（主な増減要因）

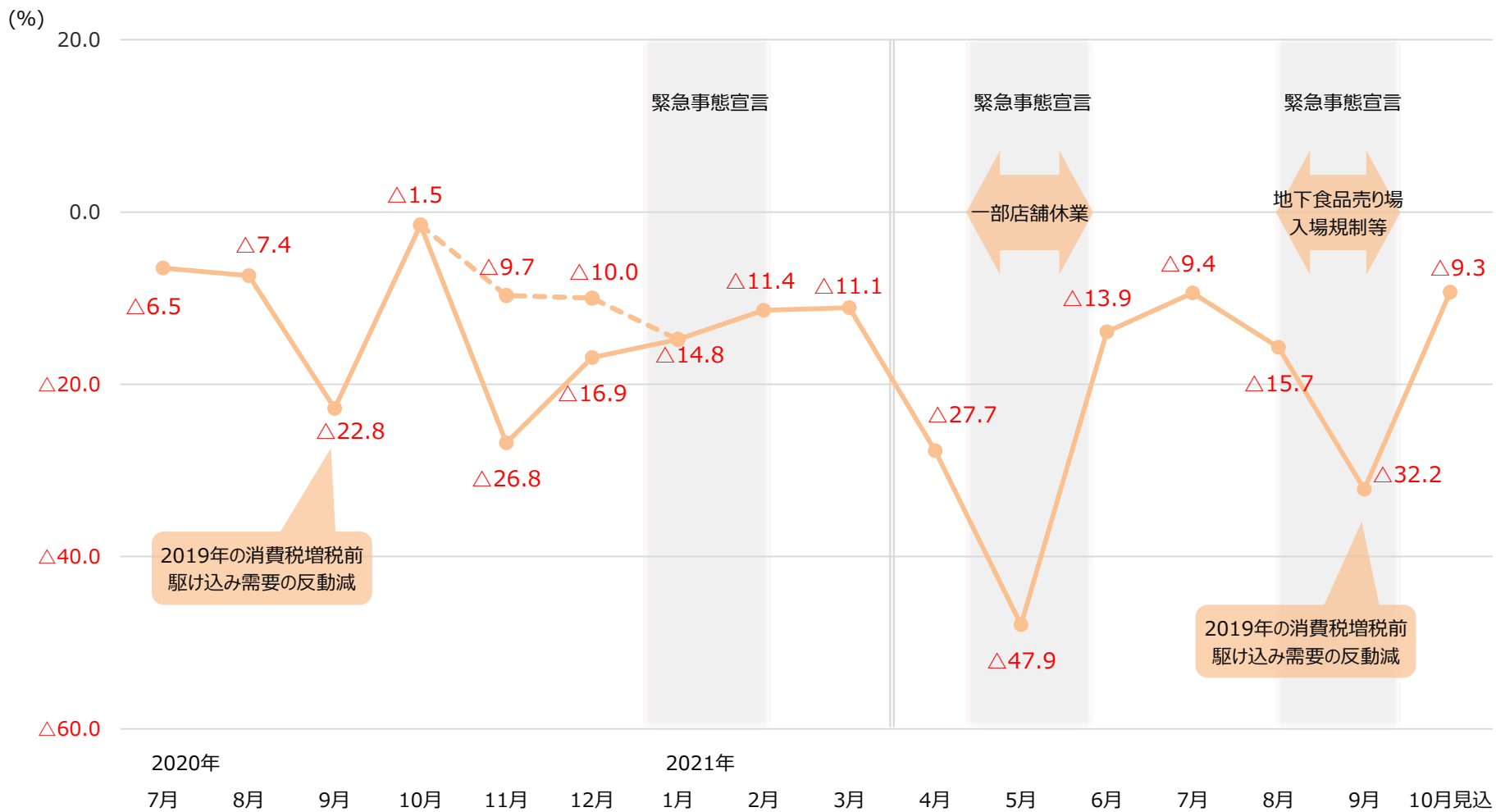
- 百貨店業は、収益認識会計基準適用による影響や新型コロナウイルスの影響による営業規模の縮小などにより、減収・減益。
- ストア業は、収益認識会計基準適用による影響などにより減収となったものの、前年同期の新型コロナウイルスの影響の反動などにより増益。
- ショッピングモールの経営は、前年同期の新型コロナウイルスの影響の反動やマスターリース事業を行う高木ビルディングの寄与などにより、増収・増益。

収益認識会計基準適用による影響（純額表示）（単位：百万円）

	影響（営業収益）
百貨店業	△9,092
ストア業	△3,601
ショッピングモールの経営	△510

百貨店業（京阪百貨店） 営業収益対2019年比

—●— 大規模内装工事受注の反動減を除いた場合



※収益認識会計基準適用前の営業収益による比較

セグメント情報（レジャー・サービス業）

（単位：百万円）

	2022/3 2Q実績	2021/3 2Q実績	増減額	増減率
営業収益	4,194	3,290	903	27.4%
ホテル事業	3,254	2,423	830	34.3%
レジャー事業	951	880	71	8.1%
消去	△11	△12	1	－
営業利益	△5,437	△6,222	784	－
ホテル事業	△5,173	△5,848	675	－
レジャー事業	△273	△381	107	－
消去	9	8	0	－

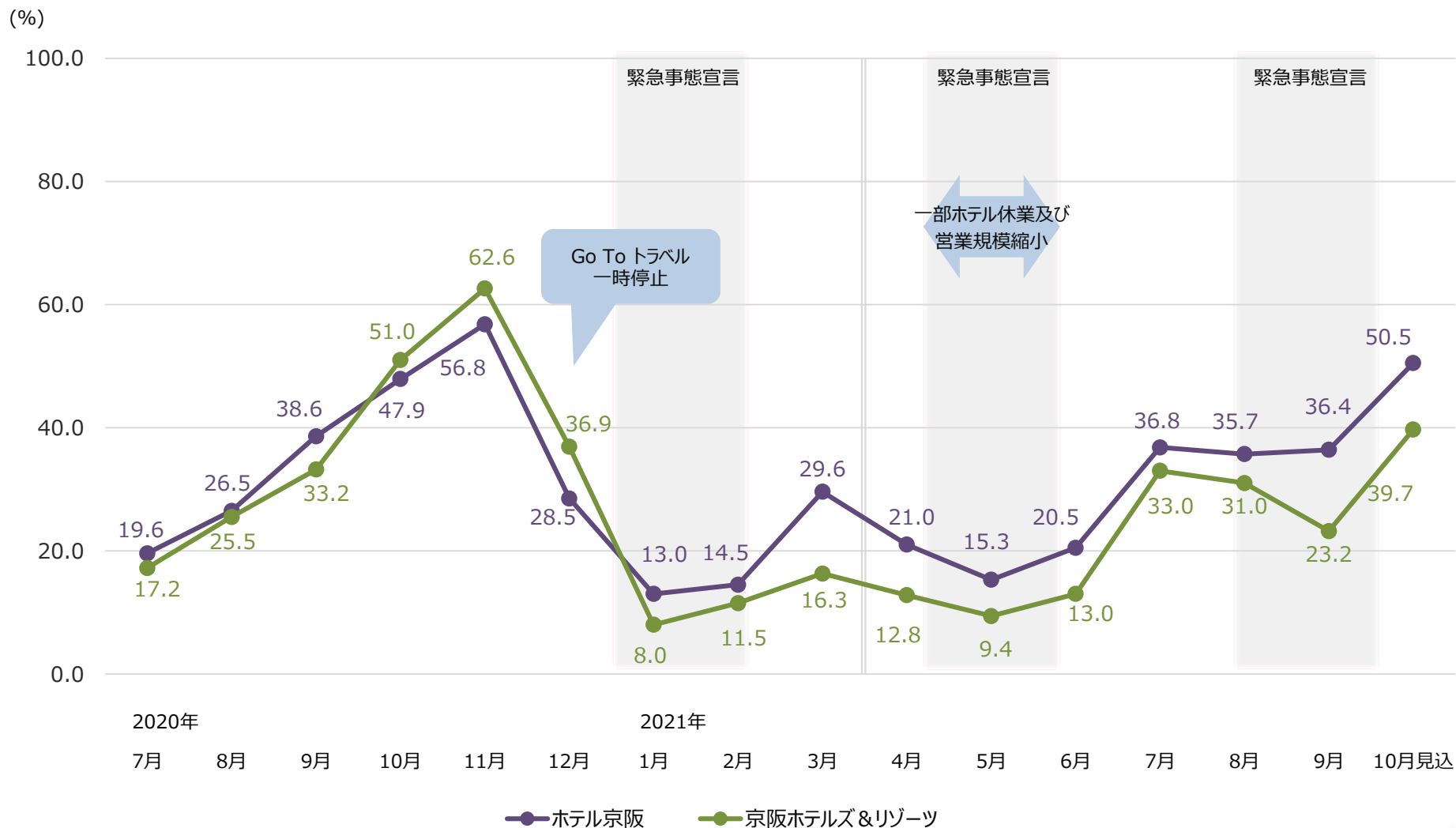
ホテル稼働率

	2022/3 2Q実績	2021/3 2Q実績	増減
ホテル京阪	27.9%	17.4%	10.5pt
京阪ホテルズ & リゾーツ	20.5%	16.1%	4.4pt

（主な増減要因）

- ・ ホテル事業は、前年同期の新型コロナウイルスの影響の反動や前年度に開業した「ホテル京阪仙台」「ホテル京阪京都駅南」の通期寄与などにより、増収・増益。
- ・ レジャー事業は、前年同期の新型コロナウイルスの影響の反動などにより、増収・増益。

ホテル事業 客室稼働率



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2022/3 2Q実績	2021/3 実績	増減額	増減要因
流動資産	183,970	197,185	△13,215	現金及び預金△5,790、 受取手形、売掛金及び契約資産△5,698
固定資産	560,560	567,062	△6,501	建物及び構築物△5,055
資産合計	744,531	764,247	△19,716	
流動負債	127,114	165,893	△38,778	未払金△13,485、 1年内償還予定の社債△10,000
固定負債	370,100	349,758	20,342	長期借入金+11,546、社債+10,000
負債合計	497,215	515,652	△18,436	
純資産	247,315	248,595	△1,280	利益剰余金△1,059 ※自己資本比率32.6% (+0.6pt)
負債純資産合計	744,531	764,247	△19,716	
有利子負債	357,249	351,600	5,649	借入金+10,649、短期社債△5,000

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2022/3 2Q実績	2021/3 2Q実績	増減額	増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	339	△8,487	8,826	税金等調整前四半期純利益+9,546
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,456	△12,110	3,653	固定資産の取得による支出+3,807
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,329	40,938	△38,608	社債発行による収入△19,905、 短期借入金△11,207
現金及び現金同等物の増減額	△5,788	20,340	△26,128	
現金及び現金同等物の期首残高	26,554	14,911	11,643	
現金及び現金同等物の期末残高	20,766	35,251	△14,485	



京阪ホールディングス株式会社

グループ管理室経理部

TEL 06-6944-2527

FAX 06-6944-2562